

2013年4月10日
テバ製薬株式会社

この資料は、2013年4月8日にテバ本社（イスラエル）が発表したものの邦訳です。
訳に齟齬が生じる場合、原文が優先されます。

テバ-韓独(ハンドック)が Yoo Suk Hong 氏を CEO に任命

- ・イーライリリー韓国法人、前 CEO の Yoo Suk Hong 氏が、テバ-韓独の初代 CEO に
- ・テバと韓独薬品による合弁会社(テバ-韓独)は、9月から本格稼働の予定

エルサレム及びソウル、2013年4月8日 - テバファーマスーティカル・インダストリーズ (NYSE:TEVA)と韓独薬品 (KRX:002390)との間で設立した合弁会社『テバ-韓独』は、同社の初代 CEO に、Yoo Suk Hong 氏を任命したと発表しました。同社は2013年2月に設立され、テバは140億ドル規模という韓国の医薬品市場で足掛かりを得ることになります。

テバジャパン会長兼、テバサウスコリア会長、ビジネス・デベロップメント・アジア太平洋統括のイツァック・クリンスキーは次のように語りました。「テバ-韓独を本格的に稼働させる準備を進めている中、Yoo Suk Hong 氏を同社の CEO として迎え入れることを非常に嬉しく思います。国際的な経験が長く、韓国市場における造詣も深い Yoo Suk Hong 氏は、高品質で手の届きやすい薬を韓国の患者さんにお届けする、という私たちの目標を実現させてくれることでしょう」

また、韓独薬品の会長兼 CEO の Young Jin Kim 氏は、次のように語りました。「Yoo Suk Hong 新 CEO は、リリーの米国本社においても、また韓国においても、幅広い職務を経験し目覚ましい功績をあげました。グローバルで培われたリーダーシップにより、Hong 氏は必ずやテバ-韓独を韓国市場のリーダーに押し上げるでしょう」

テバ-韓独は、初の製品を2013年9月から販売する予定です。

Yoo Suk Hong 氏について

Yoo Suk Hong 氏は、韓国外国語大学を卒業し、ペンシルバニア州立大学、ウォートンビジネス・スクールで経営博士号を取得しました。1992年にイーライリリー米国本社において財務アナリストとして勤務した後、1995年に韓国へ戻り、新製品マーケティングに携わりました。その後マーケティング&セールスの本部長として勤務し、2003年には米国本社において、骨粗鬆症薬のグローバルマーケティングマネージャーを務め、2007年にはリリー韓国法人のCEOに就任しました。その後、2008年に再び米国本社に渡り、韓国、中国、インド、ブラジル、ロシア等、新興国市場のマーケティング戦略責任者を務めました。

テバ-韓独(ハンドック)について

テバと韓独薬品の合併会社。テバのジェネリック及び新薬の製造ノウハウおよびポートフォリオを、韓独の持つ営業・マーケティング・流通及び薬事の機能に融合させた会社となる予定です。